

平成23年度のクレスト研究（「ナノ製造」領域）を終えて

平成18年度にスタートした研究領域「ナノ科学を基盤とした革新的製造技術の創成」（堀池靖浩研究総括）の第1期の6チーム（平成18年度採択）のクレスト研究が平成23年度で終了しました。また、第2期の堀チームも平成23年度で研究を終了しました。

これら7チームの研究成果は平成23年度の終了報告書として公開されております。いずれのチームも次のステップにつながる貴重な成果を上げられておりますが、各チームの研究の意義や達成された技術的成果等については堀池研究総括が冒頭の「平成23年度 研究終了にあたって」で説明されておりますので、こちらをご覧ください。

http://www.jst.go.jp/kisoken/crest/research/s-houkoku/sh_heisei18.html#R12

これら終了報告書や評価結果とは別に、ご賛同いただいた研究代表者より「クレスト研究を終えて」の題目で寄稿文を寄せていただいております。前述の公式な終了報告書に対して、これには掲載されないような内容も含めて、いわば、袷を脱いだ形で研究終了に際しての感想を述べていただいたものです。

内容は多岐にわたっており、クレスト研究提案に至った研究者の思いやそのテーマ自体を研究することになった経緯、あるいは研究テーマ自体（新しい現象解明や機能材料の創成）にかける情熱などが熱く語られております。研究期間を通しての異分野連携や研究会での率直な議論が成果に結びついたことにも触れられております。

また、クレストの選考会や大学における教授の教育等への問題提起も述べられております。これらの寄稿文を関係者に方々にも、是非、ご覧いただきたく、研究代表者のご同意のもとに、寄稿文を公開させていただくものです。

クレスト研究に関わる関係者のご参考になるとともに、研究代表者のご苦労・経験談が後進の研究者の方々への勇気付けと道しるべとなれば幸いです。

平成24年9月 「ナノ製造」領域担当 池田 紳一